

# 県関係の大蔵省予算原案

## 水俣病調査に663万円

### “道路”も要求額どおり

三十五年度予算の大蔵省原案は二十三日各省に内示されたが、熊本県関係では水俣病の調査費に予算措置が比較的ついたのと道路関係が要求額通りだったのがいい方。このほかには各県共通して継続分はどうやら横バイだが、新規分は軒なみ切られているので直ちに復活折衝に入っている。これまでにわかった主なものつぎのとおり。

▽水俣病総合調査費（経企庁）  
百四十二万六千一百円要求に対し  
三百四十二万四千円。（水俣庁）  
四百八十三万九千円に対し、百十七万四千円。（厚生省）百八十八万四千円に百三万九千円。（通産省）  
四百二十九万九千円にゼロ。合計  
六百六十三万四千円（要求二千五百一十八万四千円）また水俣病被災者の漁業転換費（イカつり

船）は三百十三万円に百三十九万円。真じゅ貝養殖事業費は千二百十五万円に六百七十九万円。新規の調査費としては特別に予算がついた“との見方があり、復活については検討中。

▽道路 建設省から大蔵省への要求どおり認められた。一級国道関係では九州は四十九億二千円要求して四十七億五千七百円、このうち本県の三号線に十六億九千六百万円（要求十八億五百万円）

いっぽう、二級国道では九州関係十七億六千八百五十七万五千円が十七億六千八百万円の査定を受けている。このため橋りよう、立体交

差など新規事業の一部を除いて道路だけはほとんど予算措置が講じられた。

▽港湾 三湾港は要求（国費）二千四百五十五万円に対し千五十七万円。昨年度同様。八代港は一億四千八百八十万円に対し六千二百五十万円。昨年度の五千八百二十万円に比べ若干増えた。ほかの地方港湾分はまだハッキリしない。

▽球磨川市街ダム建設工事費 八千四百六十七万八千円に対し八千五百万円。ダム工事はいよいよ明年中に完了する運びとなった。

▽直轄河川改修費 菊池川は要求一億三千七百万円に対し一億千万円。昨年の九千六百万円より増。白川も一億三千万円に一億七千九百万円つき昨年より大幅な増額を見せた。球磨川は不明。

▽離島振興費 五十九億円が三千六億六千万円と大きく削られた。

▽農林省関係 もっともシワよせがきており、不知火干拓と阿蘇にできるはずだった国立牧場分はともにもゼロ。しかし農林省としてはどうしてもやりたい意向で復活を強く要求している。（東京支社）